

ベイ・オブ・アイランズ ニュージーランド



救命胴衣説明書

説明書をよくお読みになり、不明な点は乗組員にお尋ねください。



ベイ・オブ・アイランズのみどころ

- 1** **パイヒア**
ベイ・オブ・アイランズ観光に最適なベースとなる、フレンドリーなリゾートタウン。パイヒアはマオリ語で「ここは良い土地」を意味します。
- 2** **ラッセル (コロラレカ)**
この歴史ある海辺の村は、1700年代以降訪問者にとって安息の地となり、1830年代には捕鯨産業の中心地でした。住人の野蛮な振る舞いから、かつては「太平洋の地獄の穴」として知られていました。
- 3** **モトゥロア島**
ベイ・オブ・アイランズで2番目に大きな島であるモトゥロア島では、羊が飼育されており、人気のクリームトリップ・クルーズで訪れます。
- 4** **ブラックロック**
珍しい玄武岩が広範囲に渡って連なり、さまざまな鳥の巣や興味深い花々が生息しています。
- 5** **マースデンクロス (ランギオア・ベイ)**
この地にある石の十字架は、サミュエル・マースデン牧師が1814年のクリスマスにニュージーランドで初のキリスト教説教を行った場所としての証です。またこの地域は、有名なマオリ族の長テ・パヒの故郷でもあります。
- 6** **アサシネーション・コーヴ (暗殺の入江)**
この地は、1772年にフランス人開拓者マリオン・デュ・フレヌとその乗組員26人が殺害された場所です。
- 7** **ロバートン島 (モトゥアロヒア)**
1769年にジェームス・クック船長がベイ・オブ・アイランズを訪れた際、2つのラグーンのあるこの美しい島にエンデバー号を停泊させました。
- 8** **モトゥルア島**
野生動植物が繁殖する手付かずの森、絶滅の危機に瀕する野鳥の生息地です。
- 9** **モトゥキエキ**
数カ所にウォーキング・トレイルがある、個人所有の小さな島 (28.8ヘクタール) です。
- 10** **オテヘイ・ベイ**
1920年代にアメリカ人作家ゼイン・グレイが住んだ地として知られ、彼の人気作品「Tales of The Angler's Eldorado」により、ベイ・オブ・アイランズでのゲームフィッシングが世界的に有名になりました。キャンプ場をいくつかご利用いただけます。
- 11** **ウルブカプカ島**
ベイ・オブ・アイランズ最大のこの島には、およそ520エーカー (208ヘクタール) の観光、農場地帯があり、たくさんの美しいビーチと遊歩道を有します。
- 12** **ワエワエトリア島**
115エーカー (46ヘクタール) の広さの、きめ細かい砂のビーチがある人気の観光地です。
- 13** **オカフ島**
53エーカー (21.4ヘクタール) のこの景観保護区は、レッドヘッド島としても知られます。
- 14** **ブレット岬とピアシー島 (モトゥココカ)**
ブレット岬の灯台はコロマンデル半島にて建造され、海を渡りこの地に立てられました。1910年から新たに自動式の灯台が使われる1978年まで、灯台守がここに住んでいました。

岬の最端には、クック船長がピアシー島と名付けたモトゥココカがあります。島の先端まで続く高さ18メートル (60フィート) の岩肌の印象的な外観から、一般的に「ホール・イン・ザ・ロック」と呼ばれています。